

陳 情 文 書 表

受理番号	陳情 2 第 2 7 号	受理年月日	令和 2 年 1 1 月 1 2 日
件 名	中途失聴・難聴者の意思疎通に関する陳情		

【陳情の趣旨】

新型コロナ感染対策への皆さまの昼夜を分かたないご努力に深く敬意を申し上げます。

今回の新型コロナウイルスの感染拡大は、社会の様々な面に変化大きな影響を与えておりますが、私たち中途失聴・難聴者（人口の 1 0 人に 1 人が聞こえに困難を感じている）を取り巻く課題も大きく変容しております。新型コロナ感染関連の要望は待ったなしのものとなっておりますので、可能な限り早急に施策に反映させていただくようにお願いします。

【陳情事項】

1 区の窓口対応の向上及び、音声認識アプリ活用について

区役所等の窓口職員向けに聴覚障害者対応の研修をされていることと思います。聴覚障害者のきこえの状況は多様で、対応方法もひとつではありません。目黒区の聴覚障害当事者団体は、ろう者独自（手話）の要望が前面に出ているため、中途失聴・難聴者の声が届いていません。多くの中途失聴・難聴者は手話ができません。目黒区の登録手話通訳者の難聴者に対する理解が乏しいと感じます。（対応手話・口形など）

また近年音声認識の技術が向上し、実用化されています（UDトーク等）。厚労省や東京都をはじめ、公共団体での活用が広がりつつあります。さまざまな対応や研修をお願いします。

（参考）東京都 ICTによる聴覚障害者コミュニケーション支援事業
<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/ictdeaf/index.html>

2 要約筆記の派遣の拡大を

障害者手帳を所持していなくても、病院などで説明がわかりにくく困っている方がおります。

目黒区は、障害者手帳を保持しなくても無料で要約筆記を利用できるとのことですが、このことは周知されていないようです。

ホームページや「障害者福祉のしおり」等でも障害者手帳を保持しない聴力に不安がある人も利用できることを明記し、要約筆記の周知をはかっていただけますよう、また中途失聴者、難聴者、高齢難聴者等が、きこえに関するニーズや状況に合わせて、利用しやすいシステムに改善していただけますようお願いしたい

と思います。

3 新型コロナウイルスについて

新型コロナウイルス感染症にかかる相談窓口は、電話のみならずFAXでの対応をお願いいたしました。今後とも全庁的、かつ今後も継続的にFAX番号を併記していただきますようよろしくお願いいたします。

また、長引くコロナ禍でマスク生活を余儀なくされています。シールド等の口元が見えるものの対応を検討していただきたいと思います。